

6月の健康カレンダー

●健康相談・個別健康教室

内容	日曜日	時間	場所
生活習慣病相談、栄養相談、血圧測定、体脂肪測定など	2月 9月 16月 25水	9:00～10:30	三原保健センター 緑保健福祉センター 西淡保健センター 南淡福祉保健センター

●愛育班活動

内容	日曜日	場所
愛育班活動	19木	沼島総合センター

●乳幼児健康カレンダー ()は対象

内容	日曜日	受付時間	場所
母親学級	19木	13:15～13:30	
4か月児健康診査(26年2月生)	24火	12:30～13:00	
10か月児健康診査(25年8月生)	17火	12:30～13:00	
1歳6か月児健康診査(24年11月生)	3火	12:30～13:00	
2歳児歯科健診(24年3月生)	18水	13:00～13:30	
3歳児健康診査(23年5月生)	10火	12:30～13:00	緑保健福祉センター
就学前5歳児健康診査(21年6月生)	23月	12:30～13:00	
強い歯大好き健診(23年3月・23年9月生)	11水	13:15～13:45	
育児相談(25年4月生)	9月	13:30～14:00	
(25年11月生)	13金		
食育講座赤ちゃん栄養サロン(26年1月生)	26木	9:45～10:00	
遊びの教室(予約制)	5木	9:30～9:45	
発達支援相談(予約制)	5木	13:30～	

●いずみ会リーダー養成講座

内容	日曜日	時間	場所
開講式、台所の衛生(ホウ酸団子作り)	12木	10:00～	緑保健福祉センター

●阿波踊り体操(いずみ会主催)1回100円

内容	日曜日	時間	場所
阿波踊り体操	4水 18水	10:00～	緑保健福祉センター

●献血

日曜日	受付時間	場所
5木	11:30～16:00	南淡公民館

※各種教室・相談のお問い合わせは、健康課(☎44-3004)まで

時間外診療病院	休日応急診療所(広域消防南淡分署☎53-1536)
月 平成病院	診察日 9:00～11:30 13:00～16:30 19:00～22:30
火 平成病院 八木病院	1日(日) 畑田卓也 医師 畑田卓也 医師
水 中林病院 南淡路病院	8日(日) 横山龍治 医師 渡辺 優 医師
木 翠鳳第一病院	15日(日) 柴田亮平 医師 鈴木俊示 医師
金 中林病院	22日(日) 日笠久美 医師 高田育明 医師
土 翠鳳第一病院	29日(日) 高田育明 医師 柴田亮平 医師

平日18:00～23:00
土曜13:00～23:00

認知症を支える家族の会 スマイル

認知症の介護の悩みを一人で抱え込んでいませんか?日ごろの思いを話し合える場です。
日時 6月11日(水)14:00～15:00
場所 三原公民館
園地域包括支援センター☎44-3006

専門栄養相談

在宅での食事療法(疾病別)や栄養成分表示の表示方法並びに活用方法等に関する相談を実施。
相談日 毎月第2月曜日10時～12時 ※要予約(第2月曜日が祝日の場合は翌週月曜日)
場所 洲本健康福祉事務所(洲本保健所)
園洲本健康福祉事務所健康管理課☎26-2062

成人等風しん予防接種費用助成

対象者 市内に住所を有する人で、過去に風しんにかかったことがなく、かつ予防接種も受けたことがない①～③のいずれかに該当する人
①妊娠を予定している女性(妊娠中は接種できません。妊娠前の女性は、風しん予防接種後2か月は避妊が必要です)②妊婦の同居家族(妊婦と住所が同一のもの)③平成2年4月1日以前生まれで、ワクチン接種時に50歳未満の男性
対象期間 平成26年4月1日～平成27年3月31日までの接種分
助成対象ワクチン 風しんワクチンまたは麻しん風しん混合ワクチン
助成費用 接種にかかる費用で、5,000円を上限として1人1回限り助成(償還払い)
申請先 健康課(緑保健福祉センター)
園健康課☎44-3004

小児救急医療

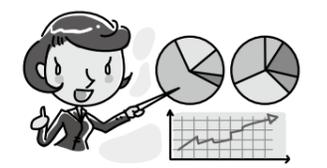
◆小児夜間救急電話センター
毎日午後10時～午前6時までの間、島内医師が輪番で小児夜間救急診療を行っています。電話センターへ電話していただくと看護師が症状を聞き、必要な時は当日の担当医療機関を紹介します。
園小児夜間救急電話センター☎44-3799

◆休日小児救急診療
日曜・祝日・年末年始の午前9時～午後5時までの間、みなと元気館内の洲本市応急診療所において、小児科医の輪番による小児救急診療所を開設し、救急患者に対応しています。
園洲本応急診療所☎24-6340

乳がん検診・子宮がん検診を受けましょう

園健康課☎44-3004

子宮頸がん検診



子宮頸がんはHPV(ヒトパピローマウイルス)の感染が関与しています。比較的若い女性に多くみられ、20～30代の女性に急増しています。初期ではほとんど自覚症状がないため、検診では異形成という前がん状態で見つかることも少なくありません。

市では20歳以上の人に検診を推進しています。先進諸国では60～80%の女性が受診していますが、日本の子宮頸がん検診の受診率は30%に達していません。市の受診率も23.9%で、昨年は1人が子宮がん、6人が前がん病変であると診断されています。

受診対象 20歳以上の女性で、平成27年4月1日現在において偶数年齢の人
受診の流れ ①健康課へ申込む、②健康課から子宮がん検診受診票が届く、③予約指定日に受診する(指定日に都合が悪い人は変更可能日時を設けています)
検診期間 町ぐるみ健診期間中(6月27日～9月8日)のうち12日間
※日程は申込み者に通知します
費用 1,200円



乳がん検診



乳がんは女性に一番多いがんで、40～50歳代をピークに発症や死亡が増加しており、日本人女性の15人に1人くらいが生涯で乳がんにかかる危険があると言われています。市では、40歳以上の人に検診を推進しています。検診を受ける年齢に達していなくても、乳房にしこりや異常を感じたら、専門の医療機関を受診するようにしましょう。入浴をする際に自分でも乳房をさわるといった習慣をつけましょう。先進諸国では60～80%の女性が受診していますが、日本の女性の乳がん検診の受診率はわずか20%程度です。市の受診率も23.7%と低い状態ですが、昨年は4人が乳がんと診断されています。

受診対象 40歳以上の女性で、平成27年4月1日現在において偶数年齢の人
受診の流れ ①健康課へ申込む、②健康課から受診票が届く、③医療機関に予約して受診する
検診期間 平成26年5月26日～平成27年3月31日
検診項目 問診、視触診、マンモグラフィ
費用 1,700円